

01 使いながら

南山大学のドイツ語の授業は、ドイツ語を「使う」ことを前提にしています。授業の中ではドイツ語表現をたくさん使うことで、身に付けることができます。授業の学習内容は、国際的にドイツ語能力を証明できる試験（ÖSD・Goethe-Institutドイツ語検定試験・telc Deutsch・Test DaF）にも対応しています。

南山大学ではドイツ語をこんな風に学びます

これを読んで面白そうと思ったあなた、変化を求めるあなたにドイツ語をおすすめします。

02 アクティブに

南山大学のドイツ語の授業では、一人一人が積極的かつ自律的に授業に参加することが求められます。例えば与えられた文法表を丸暗記するのではなく、実際にドイツ語に触れて自分たちで規則を発見していく作業などもそれにあたります。プレゼンテーションなど色々な発表の機会もたくさんあります。

Deutsch

ドイツ語

03 みんなで

難しそうですか？心配しないでください。ひとりではありません。授業では、ペアワーク、グループワークを多く行い、クラスメイトと助け合いながらドイツ語を学びます。話し合うことで初めて読むドイツ語の文章もなぜかだんだんわかってきます。





ドイツ語とは

ドイツ語は、ヨーロッパの主要言語の一つでドイツ、オーストリア、スイス、リヒテンシュタイン、ベルギー、ルクセンブルクで公用語とされており、ドイツと国境を接するフランスのアルザス地方、イタリアのチロル地方、東欧などでも日常的に話されています。

現代におけるドイツ語

ドイツ語は「過去」の文化に近づくだけのものではありません。ドイツは環境問題への取り組みでもよく知られていますし、美しく機能的な都市計画や、工業デザインなどの分野でも目を見張るものがあります。また、多くの外国系住民の暮らすドイツやオーストリアの社会政策は、多文化社会の先行事例として、今後の日本社会を考えるうえでも重要な視点を提供してくれるでしょう。

ドイツ語圏の文化・芸術・思想

バッハ、ベートーヴェン、モーツァルト、ワーグナーなどの作曲家は、ドイツ語を話していました。文学ではゲーテ、グリム兄弟、カフカ、ヘッセ、ケストナーなどがドイツ語で作品を著しています。絵画や建築の世界でも多くの芸術家がドイツ語圏で活躍しました。日本の近代化はドイツをお手本に進められた歴史があり、かつてドイツ語は学術的にも重要な言語とされていました。こうしたドイツ語圏の思想文化に直接触れることができるのは、ドイツ語学習の大きな魅力のひとつです。

複数の外（国）語を学ぶ意義

ともすると英語さえできれば十分と考えられがちですが、日本語と英語だけで得られる情報がいかに限られたものであるかは、もうひとつの言語を学べばすぐにわかります。ドイツ語を学ぶことで、世界を見る見方が広がり、一層豊かになることは間違いありません。

南山大学のドイツ語授業の特色 — 使いながら楽しく学ぶ

しばしば「ドイツ語は難しい」という言葉を見かけますが、それは文法規則中心に教えられていた昔の話。南山大学のドイツ語授業では、文法規則を覚えることよりも、授業の中で実際にどんどんドイツ語を「使う」ことで、実践的な「使える」ドイツ語を楽しく学びます。きちんと学べば、ある程度のドイツ語運用能力を身につけることができます。また、南山大学のドイツ語教育では、外国語の学び方そのものも学ぶことができるため、大学卒業後も活用できる能力を身につけることができます。これはみなさんにとって非常に大きな財産となるでしょう。

「勉強してみたら、ドイツ語ってけっこう楽しい！」という先輩はたくさんいます。みなさんも、その仲間に入りませんか？



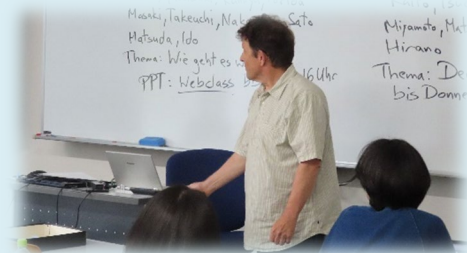
外国語学部ドイツ学科教授 太田達也（ドイツ語教育）

ドイツ語を通して色々な体験もできます！

南山大学で第2外国語としてのドイツ語を学んだ先輩の中には、色々な挑戦をした人がたくさんいます。

- 語学検定試験合格
- 短期留学（例えば、ドイツの大学で開講されるサマーコースも含む）、長期留学（交換留学も含む）
- 他大学のドイツ語コンテスト応募・受賞

◆ 毎年8月にはドイツの大学（デュッセルドルフ大学、フライブルク大学、マンハイム大学など）でサマーコースが開講されます。第2外国語でドイツ語を履修していれば、十分に参加可能です。そうした留学によって夏休みを充実させることを一つの目標に授業を頑張るのも良いかもしれません。



クイズ 実は身近なドイツ語

どれがドイツ語由来のことばでしょう？

カルテ、シャーレ、ギプス、バクトル、ゲノム、エネルギー、ボンベ、テーマ、ダイナマイト、ゼミナール、アンチテーゼ、イデオロギー、アルバイト、ヒエラルキー、グミ、バウムクーヘン、ウイルス、ワクチン、シュラフ、ゲレンデ、リュックサック

答えは最終ページ（「先輩たちの声」）にあります！

みなさんへ

新入生のみなさん、こんにちは。みなさんはドイツと聞くとどのようなことを想像するでしょうか？ヨーロッパサッカーファンの方なら、日本人が多く活躍するブンデスリーガをイメージする方もいるでしょう。一時期流行った「ドイツ人の働き方は効率的」なんて話題を知っている人もいるでしょう。他にも、やはりドイツと言えば高級自動車と即答する人も多いかもしれません。

こんな風にドイツは様々な側面を持っていますが、学問的テーマとしてよく取り上げられるのは、環境政策でしょう。また経済に関しても、成長重視というよりは、物価の安定や財政の安定に重きを置いてきました。こうした姿勢は、アメリカと中国がしのぎを削る世界経済の中で、独自の存在感を誇っています。ヨーロッパ連合（EU）の中で、中心の役割を果たしていることも見逃せません。

また、日本では歴史的には明治期にドイツをお手本に近代化を進めた経緯もあり、ドイツ語はアカデミックな言語として非常に重要視されてきました。しかし、近年はその難しいイメージもあって、ドイツ語やドイツへの関心が薄れつつあるようです。ですが、ドイツの国際社会における役割はかつてないほど大きくなっています。そうした最新のドイツの姿をドイツ語の学びを通じて理解することは、みなさんが経済学・経営学を修めていく中で、きっと役立つはずです。

最近では、就職活動で皆さんの履修科目がAIでチェックされて、その人の学びの方向性が判断されたりします。かりにみなさんが第二外国語としてドイツ語を履修していれば、その人の学術的指向性は「高い」と読み取ってくれたりするでしょう。ドイツ語を履修しているだけで、みなさんは就活で他の学生よりも優位に立てたりするかもしれません。

ドイツ語の学びは難しいというのも、実際はかなり変わってきています。例えば、グループワークなどが多く導入され、教員が一方向的に文法の話をする授業などは姿を消しつつあります。楽しみながらドイツ語を身に付けていく授業が多く開講されています。ぜひ楽しいドイツ語の世界に一步踏み出してみましょう。みなさんの言語との向き合い方も変わってくるはずです。

外国語学部ドイツ学科教授 中屋宏隆（ドイツ経済）

先輩たちの声

話すことや発音を中心に学んだので、
外国語で話すことの楽しさを知ることができた。

外国語を学ぶときはどんどん発音したり会話したりすることで身についていくと実感した。

グループワークを多く行うことで、自分たちで学んでいるという意識をもって授業を受けることができた。主体的な学び方を教えてくれた。

はじめは難しそうだと思っていたけど、一年間でドイツ語でできることがたくさん増えてびっくり。



ドイツ語が意外と身近にあることに気付くようになってうれしかった。

ドイツ語のニュースを見てみたり、映画の字幕をドイツ語にしてみたりするようになった。

はじめは人と話すのが苦手だと思っていたけど、だんだん慣れてきて、最後は楽しかった。

自分達で推測して進めていくため、記憶に定着しやすい。

先生とクラスメイトが良い環境を作ってくれた。一緒に学習してきたメンバーと先生が楽しい。

間違いを恐れずに、自分の意見を言えるようになってきた。

一年間を通して人前やグループで発言することへの抵抗がかなり減った。

pos.-neg. x4
Doch

分からない問題は近くの人と話し合っ
て解決するという学習方法を学びました。

すぐに答えを求めるのではなく、まず自分で考えてみるという習慣が身についた。

クイズの答え：
タイナマイト以外
ぜんぶドイツ語！